

# GREEN LETTER

## グリーンレター

**Vol. 248**

2017/07/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

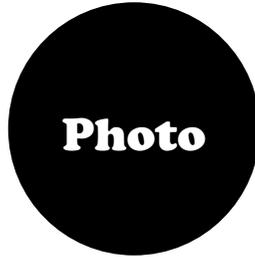
GREEN COLUMN

01. 8mm フィルムに残された風景

02. 美幌峠のコケモモ



今月の一枚



## 「わたしを写して」

表紙写真・文／八重柏誠

6月18日（日）に、全道一斉の花調査「フラワーソン」に参加しました。日頃の行いがよいためか、好天に恵まれ、素晴らしい1日となりました。

表紙は、フラワーソンに参加中の出来事をパチリと写した一枚。葉っぱにとまったミヤマカラスアゲハは、自分から写してと言わんばかりに”じっ”と動きません。多くの参加者が、パシャパシャと撮影しているのにも動じず、まるでモデルのよう。

ひとしきり撮影が終わると、ふわりと飛び立ち、森の奥に帰って行きました。

# Event. 今月のイベント

特別展「美幌なつかしの<sup>まなびや</sup>学び舎」 7月22日(土)～10月22日(日)

博物館講座(自然編)「ホタルかごを作って、ホタルを観察しよう」 7月23日(日)

モノ作り講座「クワガタムシのちょきんばこ」 7月25日(火)

プチ工房「バスボムづくり」 7月26日(水), 28日(金)

「絵画の楽しみ方」 7月30日(日)

# Information. 参加者募集

博物館講座(自然編)「ホタルかごを作って、ホタルを観察しよう」

【ホタルかご作りとお話】●7/23(日)9:30-12:30●博物館2F視聴覚室●無料●鬼丸和幸(美幌博物館)●美幌博物館へ電話申込み(7/1-7/19)。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要,定員25名で締切。

【観察会】●7/23(日)18:30-21:00●美幌町日並(集合解散は美幌博物館)●保険料(100円),野外で活動できる服装,軍手,雨具,虫よけ,懐中電灯●鬼丸和幸(美幌博物館)●美幌博物館へ電話申込み(7/1-7/19)。キャンセルは7/19まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要,定員25名で締切。当日雨天の場合は室内で行います。工作と観察会と合わせてご参加できる方を優先的に受付します。

モノ作り講座「クワガタムシのちょきんばこ」

●7/25(火)10:00-12:00●美幌博物館1F講座室●材料代(1,000円)●城坂結実(美幌博物館)●美幌博物館へ電話申込み(7/1-7/22)。対象は小学生から一般,小学校3年生以下は保護者の同伴が必要,定員16名で締切。

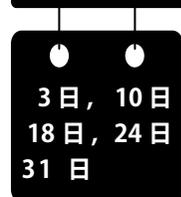
プチ工房「バスボムづくり」

●7/26(水),28(金)10:00-12:00,14:00-16:00自由に入室。作品ができたなら終了●美幌博物館1F講座室●材料費(200円)●八重柏誠(美幌博物館)●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

「絵画の楽しみ方」

【講演会】●7/30(日)10:30-12:00●博物館2F視聴覚室●無料●柳瀬俊泰(日展会員/美幌博物館学芸協力員)●申込み不要。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

今月の休館日

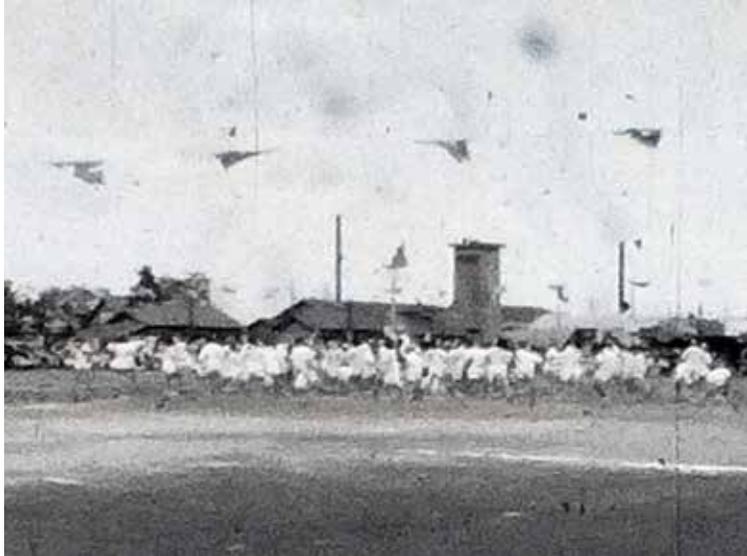


〈凡例〉●日時●場所●費用,持ち物●講師●申込み方法

## 01 GREEN COLUMN グリーンコラム

# 8mmフィルムに 残された風景

写真／美幌博物館蔵・文／八重柏誠



**家**庭用の8mmフィルムが発売されたのは、1932年。1960～1970年代に一般家庭に普及し始め、全盛期を迎えました。その後、ビデオテープに取って代われ、姿を消しましたが、昭和の風景を動画で残している、貴重な歴史資料と言えるでしょう。

博物館の収蔵庫には、コンテナボックス2箱分の8mmフィルムがあり、1950～1970年代の映像が記録されています。木造板張の商店街や、未舗装の頃の美幌峠、小学校の運動会や僻地校の市街地見学など、現在では見ることができない様々な美幌の風景が収められています。

7月22日（土）から始まる、特別展「美幌なつかしの学び舎」では、この8mmフィルムの映像を一部ご覧いただけます。その名も「なつかシアター」。写真は、その映像の一部で、1957（昭和32）年に撮影された美幌小学校の

運動会で、玉入れ競争をしている場面です。当時はごくありふれた風景だったので、空には万国旗が翻り、木造平屋の学校も映し出されています。

8mmフィルムの映像には、様々な過去の情報が隠されていて、見るたびに新たな発見があります。それは、みなさんにとって懐かしくもあり、驚きもあるかもしれません。どんな映像が見られるのか、特別展にご期待ください。



## 美幌峠の コケモモ

写真・文／城坂結実



コケモモという花の名を、聞いたことはありますか？コケモモの実を加工した、ジュースやジャムも売られているので、ご存知の方は多いかもしれません。また、高山植物の一つとして、よく知られた花でもあります。

美幌町では、今のところ、美幌峠でのみ、コケモモが確認されています。6月中旬頃から、5mmほどのピンク色の花が鈴なりに咲き、地面近くを彩ります。

先月、北海道大学の和久井さんにご協力いただき、美幌峠のコケモモについて調査をはじめました。コケモモは、種子をつくって増えるほかに、地下茎を伸ばして増えていくことが知られています。そんな中、美幌峠のコケモモの ①種子はどのくらいできているのか？ ②遺伝子のばらつきはどの程度なのか？ を調べることは、今後のコ

ケモモの状況を予測していく上で大切なことです。

調査中、これまで上から見下ろしてばかりだったコケモモの花を、顔を地面にくっつけるようにして、ながめてみました。花びらの先が控えめに反り返り、花の上部にある赤い萼がワンプイントを添えています。他館の紹介になりますが、遠軽町にある「白滝ジオパーク」のキャラクター“こけもも姫”は、そのコケモモの特徴をよく表しています。機会があればぜひ、会いに行ってみてください。

話はすっかり横道にそれてしまいましたが、今回の調査は秋まで続きます。調査結果は、何かの機会にお伝えできればと思っていますので、お楽しみに。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 ( 72 ) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / [museum@town.bihoro.hokkaido.jp](mailto:museum@town.bihoro.hokkaido.jp)

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

## 学芸員のつぶやき



美幌峠は一年中気候が厳しい場所。美幌の市街地が晴れていても、峠だけ霧がかかって寒い…なんてことはよくあります。6月のコケモモ調査は、気温が5～6℃、体が飛ばされそうなくらいの強風と雨に打たれての調査となりました。寒さにふるえながら、厳しい環境で暮らす植物たちを、あらためて尊敬したのです。(城坂)